



ヘビはどうして足がないの、どうして歩けるの

ヘビの先祖は、土の中でくらすトカゲ

ヘビが、どうして足がないのかについては、専門家の間でも、いろいろな説があります。いちばん多くの人に信じられている説は、つぎのようなものです。

ヘビは、土の中でくらしていた、トカゲの仲間が進化して生まれたという説です。ヘビの中には、今も、土の中でくらしているものがあります。また、耳が付き出ていないし、足もないので、体全体がまるっこくて細長く、地中を動き回るには、つごうのよい体つきをしています。しかも、目もあまりよく見えず、耳も聞こえません。ぺろぺろ出す舌で、においや獲物の体温を感じて、えさをつかまえます。地中でくらすなら、これで不自由しないはずで

ヘビは、ろっ骨と腹板で前へ進む

ヘビの進み方は、背骨につながったろっ骨を、前にたおして地面に押しつけ、ろっ骨がまっすぐになるまで体を前に動かすというやり方です。腹板は、ヘビのおなかの部分にある、はばの広いうろこです。筋肉でろっ骨とつながり、ろっ骨の動きにあわせて動く腹板が、キヤタピラのような役目をして、ヘビの体が前に進みます。この進み方と、体を左右にくねらす動きをあわせて、かなりのスピードで前進します。（監修・今泉 忠明）

